

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
成人看護学方法論Ⅳ	3年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	木竜 理恵子 ※
授 業 概 要					
日本人の生涯で2人に1人はがんに罹患すると言われる中、がんと告知され心身への侵襲の大きいがん薬物療法・放射線療法・手術療法を受けながら、がんと共生する患者と家族を支えるための看護を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. がん薬物療法・放射線療法を受ける患者に対する援助方法を述べる。 2. 周手術期の経過をたどる健康障害をもつ患者及び家族の特徴を知る。 3. 麻酔・手術侵襲が患者に及ぼす影響を理解し周手術期の援助方法を述べる。 4. 消化器疾患で手術を受ける患者の周術期の援助方法を述べる。 5. ストーマ造設患者の看護の特徴を知る。					
実務経験のある教員					
木竜 理恵子・佐藤 純子： がんで治療を受ける患者とその家族への看護がどのように展開されているか、病院での臨床経験を踏まえて教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-3	1. がん患者の看護 1) がん患者の抱える苦痛と苦痛を緩和する日常生活の支援 2) がん患者の治療と看護 薬物療法・放射線療法を受ける患者の看護 3) がんと共生を支えるための患者・家族への援助				佐藤 純子 ※
4-13	2. 周手術期の看護 1) 手術を受ける患者・家族の心理状態の理解と援助 2) 術後合併症のリスクアセスメントと予防の援助 3) 手術中の患者に対する援助 4) 術直後の観察と援助 (膀胱留置カテーテルの管理) 5) 術後合併症の予防と回復促進の援助 (腸閉塞・腹膜炎、疼痛緩和も) 6) 演習 創傷の治癒過程と創傷処置・ドレーンの管理 (挿入部の処置)				木竜理恵子 ※
14-15	3. 消化・吸収障害を持つ患者の看護 1) 消化性潰瘍、吐血・下血のある患者の看護 2) 胃がん・大腸がん患者の看護 3) 胆石症・胆嚢炎患者の看護 4. 排泄機能障害を持つ患者の看護 1) 人工肛門造設術／尿路変更術を受ける患者の看護 2) 演習 ストーマ管理				外部講師
学 習 方 法					
限られた時間で多くの内容について学ぶので、学習内容に関連する既習の知識については事前学習、自己学習が必要である。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験及びレポートにより評価する。評価の詳細は講義の初回に提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
新体系看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論	宮脇美保子 編	メヂカルフレンド社			
新体系看護学全書 経過別成人看護学② 周手術期看護	明石恵子 編	メヂカルフレンド社			
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [5] 消化器	松田明子 他	医学書院			
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [8] 腎・泌尿器	河邊博史 他	医学書院			
看護過程に沿った対象看護 病態生理と看護のポイント	高木永子 監修	学研			
今日の治療薬 解説と便覧	浦部晶夫 編	南江堂			
検査値 早わかりガイド 第3版	江口正信 他	医学芸術社			